

# 金 沢

読者のダイヤル

市外局番076、ニュースや写真提供、催しの連絡は  
社会部(260)3534  
FAX(260)3420  
syakai@hokkoku.co.jp  
政治部(260)3527  
経済部(260)3529  
文化部(260)3538  
運動部(260)3444  
FAX(260)3456

広報課(260)3402  
koho@hokkoku.co.jp  
◇掲載写真の注文、チケット申し込み 読者サービスセンター(土日、祝日除く)  
(260)3466  
dokusha@hokkoku.co.jp  
◇広告の相談 広告部(260)3571

◇購読の申し込み、相談 読者相談室(260)3564  
◇折込サービスの申し込み 折込サービス(294)7295  
◇催し、チケット問い合わせ 事業部(260)3581  
◇出版関係の問い合わせ 出版部(260)3587  
◇文化センターの入会 文化センター(260)3535

## 「石川の伝統、人情伝えたい」

# 米の元留学生 H.P.制作

金沢市内で日本語を学んでいた米国人留学生二人が帰国後、石川の伝統文化や暮らしぶりを紹介するホームページを制作した。滞在中に心引かれた金沢城や近江町市場の歴史、県内各地の祭りなどが写真やイラスト付きでまとめられている。英語のホームページは石川の魅力を世界に発信するだけでなく、外国人の目を通じたいと新たな魅力掘り起しにもつながると関係者も歓迎している。



### 金沢城や近江町市場、祭り...

## 体験もとに 詳しく紹介

ホームページを制作したのは、コンピュータアニメーターのリオ・ホーヴイツさん(四〇)とカリフォルニア州在住の、大学生のマット・メイヤーさん(三二)フロリダ州在住。昨年五月、ユーロセンター金沢の日本語研修プログラムで二週間、金沢市内でホームステイを体験しながら、県内各地で茶の湯などの日本文化を体験した。

二人は帰国後、世界中の人に石川の素晴らしさを伝えたいと互いにリンクするホームページを作成。ホーヴイツさんは、金沢城公園に再建された菱橋の構造や歴史、留学中に学んだ茶の湯の作法のほか、活気

留学生が作ったホームページを申し込むユーロセンター関係者へ金沢市本町本町一丁目リファール



### 春描く墨彩画

グループ奉団体展 水墨画比呂呂会に所属する女性でつくるグループが、分の一に縮小し、駐車案内システムは歩道側一・五層寄せる改良工事も同日までに終了した。

掲載している。二人は「石川には大都市にはない日本の古い文化と、住民の温かい心があふれている」と魅力を語り、二人を受け入れたユーロセンター金沢のプログラムのイレクター四十沢靖子さんは「外国人から見た石川の素顔に触れられる。国内外の多くの人に見てほしい」と話している。ホームページのアドレスは次の通り。  
<http://www.stonehschool.com/japan>  
<http://www.stonehschool.com/japan/Kanazawa/>  
<http://webpage.ringling.edu/meyer/Japan.html>

の団体展「春を描く」(北國新聞社後援)写真展は十九日、金沢市清川町の犀川荘で始まり、春らしい華やかな雰囲気、墨彩画など二十一点が来場者の目を惹きました。グループは季節ごとに作品展を開いている。今回は代表の内藤藤久さん(同市秋田西二丁目)をはじめ十二人が出展し、ひな飾りや桜、菜の花など春を彩る明るい色合いの作品が並んだ。二十七日まで。

## 一足早く巨大彫刻

ルキーナ横にお目見え

駅前広場完成に合わせ

不破実市議会議長、作田商店街事務理事、荒水秀勝コンベ実行委員長、酒俊金沢駅前にかいわい協議井博此花地区連合町会会長、澤田整ルキーナ町長、福村清駅前別院通り会長と園児が除幕した。

### 標識もスリム化

広場前の道路交通標識規制標識の大きさを三分の一に縮小し、駐車案内システムは歩道側一・五層寄せる改良工事も同日までに終了した。